

[ 内装小面積向き ]

ランダムアート仕上げ  
施工の手引き

**適用品番**

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m <sup>2</sup> (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m<sup>2</sup></u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系珪砂シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m<sup>2</sup></u>
主材 (ベース、 トップ)	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> ( <u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u> ) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> ( <u>...数字</u> ) 特注色 <u>JP(W)-100</u> ( <u>...英字、...数字</u> )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	ベース: 約16 m <sup>2</sup> トップ: 約100 m <sup>2</sup>
骨材	JF-1 JF-3	寒水石(白竜)1厘 寒水石(白竜)3厘	20kg/袋入り 20kg/袋入り	約5.2 m <sup>2</sup> 約5.26 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安: 約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・スチロールゴテ (スタイロフォームのような発泡スチロールでも可)
- ・仕上げコテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・刷毛
- ・ウエス (又はスポンジ)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<ランダムアート仕上げ施工方法>

<ビードロ仕上げ施工方法>

1.シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18%
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2.主材 下塗り

・JP(W)-100 シーズ を無希釈で0.9kg/m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3.主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W)-100 シーズ</u>	20kg
	寒水石 3厘	2kg
	寒水石 1厘	20kg
	清 水	3%
塗 布 量	約0.8kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	金ゴテ	
	金ゴテにて、寒水石3厘が転がる程度に薄く、平滑に材料を配ってください。	

追いかけ(5分以内)

4. パターン付け

・ スチロールゴテを円状に動かし、部分的に寒水石が転がった跡を残してください。(図-1)

追いかけ(5分以内)

5. 押さえ(仕上げ)

・ 仕上げゴテにて、表面が平滑になるよう、コテムラが残らないようしっかり押さえてください。

夏期 4時間以上、冬期12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

6. 主材 上塗り(トップ色)

配 合	<u>JP(W)-100シリズ</u>	20kg
	清 水	10 $\frac{1}{2}$ kg
塗 布 量	約0.2kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	刷毛、ウエス(又はスポンジ) 刷毛で塗材を薄く全面塗布し、材料が乾燥しないうちにウエス(又はスポンジ)で部分的に拭き取ってください。 (図-2)	

< 施工のポイント >

- ・金ゴテにて厚さ約 1mm(寒水石 3 厘の粒径)程度となるよう薄く均一に塗り広げてください。
- ・スチロールゴテを円状に動かし、寒水石 3 厘をランダムに転がしてください。(図 - 1)
- ・きれいな金ゴテ(柔らかいステンレスゴテをお勧めします)にてパターンの頭を押さえ平滑に(コテ波が消えるまで)仕上げてください。

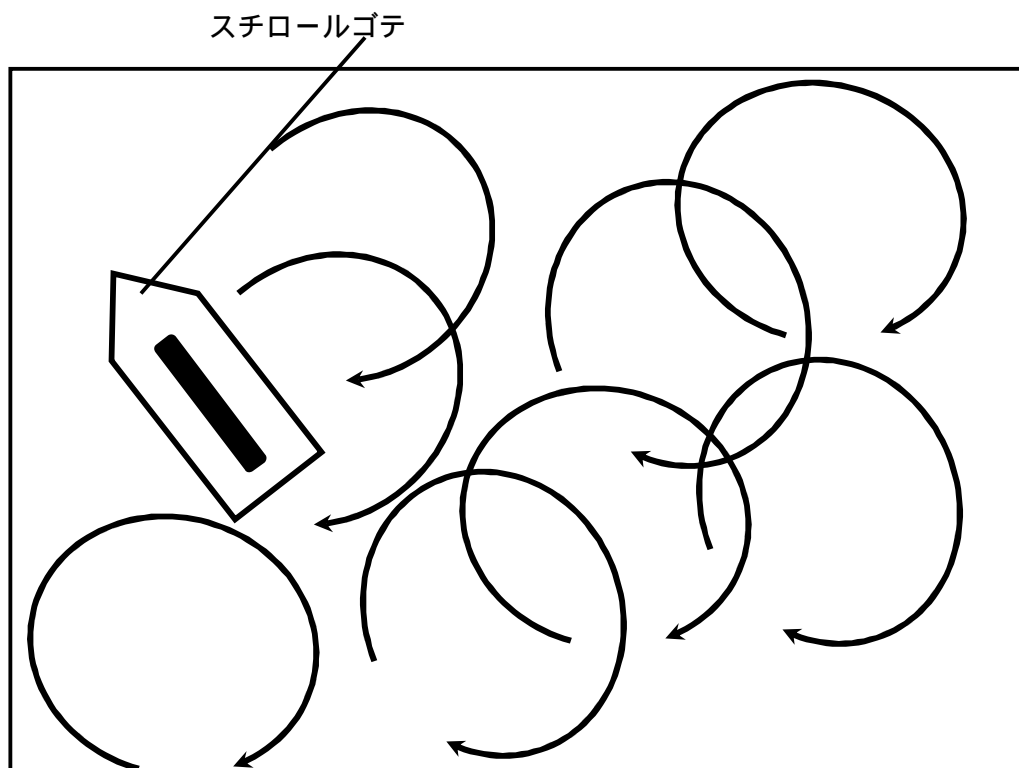


図 - 1

- ・ ジョリパットを50%水希釈し、刷毛で薄く全面塗布し材料が乾燥しないうちにウエスで部分的に拭き取ってください。ウエスはこまめに交換する。

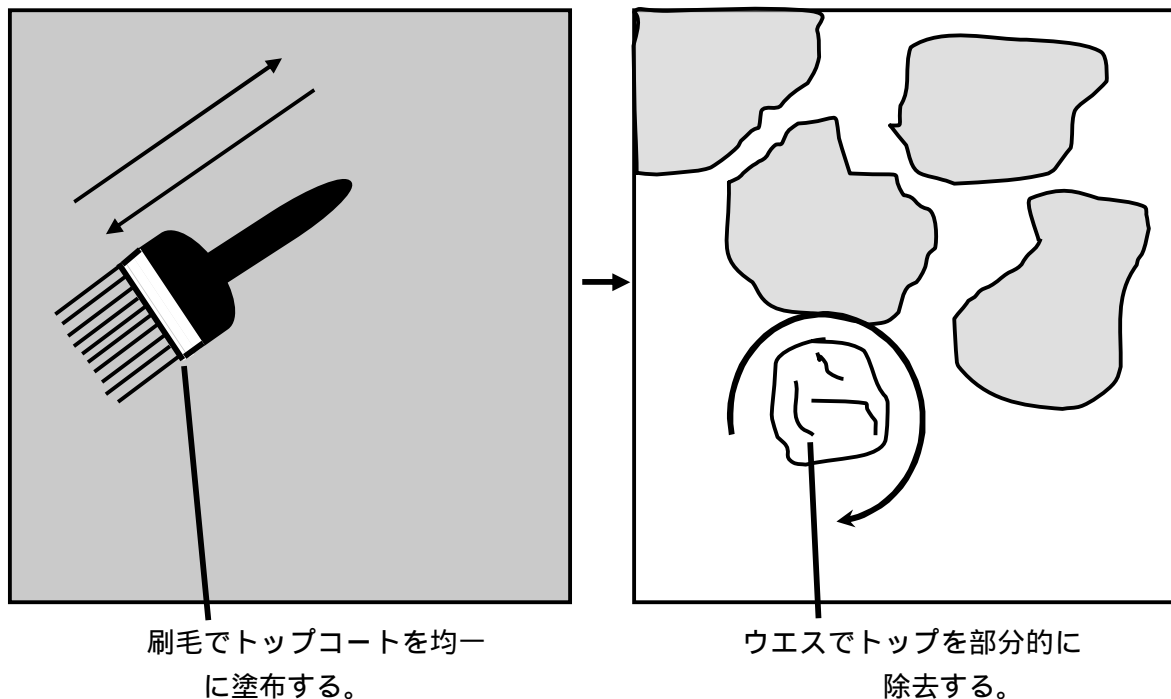


図 - 2

ブラシ等をウエスで包んだ道具で塗材を拭き取るのも効果的です。(図 - 3)

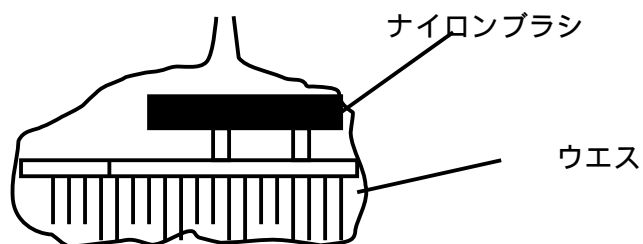


図 - 3

< 施工の注意事項 >

- ・塗膜が薄く下地の不陸を拾いやすい仕上げのため、下地が平滑であることを確認してから施工して下さい。(特にモルタル下地や、ボードの継目では下地に不陸が出やすいため、下地を平滑に処理した後、施工して下さい。)
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

完全にコテムラなくフラットに仕上げることはできません。

以 上